

**第 78 回国民スポーツ大会山形県予選会兼第 51 回東北総合スポーツ大会山形県予選会
審判・監督会議資料**

1. 遵守事項

(1) 共通事項

- ①競技規定については実施要項のとおりとする。実施要項及び審判監督会議資料に記載のない事項については競技規定書のとおりとする。
- ②審判・監督会議は事前に本書面の配布のみにより実施する。当日は審判においては出欠確認のみ、監督は受付時に棄権する選手を報告すること。
- ③選手が規定外の服装、安全具でコートに現れた場合は、服装防具を正すために、組手は2分間、形は1分間の時間が与えられる。その際、監督は当該競技者の監督につくことができない。

(2) 審判員

- ①通常通り笛を使用する。
- ②競技中、指定された席を必要以上に離れないこと。
- ③審判シューズは土足厳禁とする。

(3) 選手

- ①隣の選手及び前の選手と間隔を空けて整列すること。
- ②形名の呼称や気合い等を発声する際は、大声での過度な発声を禁止する。
- ③組手競技においてマウスシールドの装着は任意とする。
- ④組手競技においてマウスシールドが外れた場合は、直ちに主審が「止め」をかけるので付け直すこと。
- ⑤試合前後はきちんと礼をし、ハグ、グータッチ、握手、出迎え、送り出しはしないこと。また、雄叫びや派手なリアクションは禁止とする。

(4) 監督

- ①監督はあらかじめ届出があった者とする。
- ②監督席では大きな声での過度な発声を禁止する。
- ③監督は予選会が円滑に進行するよう、所属団体の選手に取決め事項やマナー等を遵守するよう指導・管理すること。
- ④異議申し立てについては以下のとおりとする。
 - ・判定について審判団に異議申し立てはできない。
 - ・審判の手続きに規定違反（ルール違反）があった場合、監督は挙手のうえ口頭でコート主任に異議を申し立てること。
 - ・異議申し立ては手続き違反があった時に即時に行うこととし、次の試合に入った場合は受け付けない。
- ⑤プロテストは実施しない。

2. 競技について（実施要項記載以外）

(1) 形競技

- ①決勝ラウンドの演武順については第1ラウンドが終わり次第抽選により決定する。
- ②第1ラウンド、決勝ラウンドともに赤帯を装着すること。

(2) 組手競技

- ① 10カウントルールを採用する。
- ② 連続して試合を行う場合のインターバルは試合時間と同時間とし、赤と青が入れ替わる場合は防具等を交換してから計測する。
- ③ 競技時間は少年は正味2分間、成年は正味3分間とする。
- ④ 勝敗は競技時間内に8ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格又は競技時間終了時に得点の多い選手を、同点の場合は「先取」のある選手を勝ちとする。競技時間終了時に同点で「先取」のない場合は、1本の多い選手を、それでも同数の場合は技ありの多い選手を勝ちとする。それでも決しない場合は副審4名により判定し、2対2の同数時は主審の判断に基づき判定により勝敗を決定する（ラウンドロビン制ではないためリーグ戦も同様とする）。
- ⑤ リーグ戦において勝敗数が同数の場合は総得点差において勝敗を決する。それでも勝敗がつかない場合は当該選手のみ再試合を実施し勝敗を決する。

3. 質疑について

(1) 予選会当日は従来の審判会議、監督会議は実施しないため、上記の内容について質疑が生じた場合は、別紙「質疑申込書」に質疑内容を記載し、担当者へ期日までメールで送付すること。後日、質疑内容とその回答を通達する（ホームページ掲載）。

(2) 質疑申込書の提出について

【提出期限】 令和6年7月10日（水）

【提出先】 審判委員長 梁瀬伸祐 宛 メールアドレス s.yanack@poppy.ocn.ne.jp